大呑ランタンフェスティバル
～復興への祈り、夜空いっぱいの灯火に～

団体名●七尾大呑地域活性化プロジェクト／代表者名●中林優芽（人間科学部スポーツ学科３年）

はじめに（背景・目的・目標）

2024年度のランタンイベントでは、「仕事や進学で大呑を離れた人々が再び戻り、集える場を提供すること」と「能登地震からの復興支援」を主要な目的とした。さらに、地元住民に加えて、これまで大呑地域でフィールド活動を行ってきた金沢星稜大学の卒業生をも巻き込み、交流人口の拡大を図ることで、大呑地域の魅力を広く発信することを目指した。また、イベントを通じて、地域の結びつきを強化し、能登半島地震からの復興に少しでも貢献することを目指した。

活動内容

（1）竹ランタン作り体験

日程：2024年8月10日（土）15:00~18:00
場所：七尾市南大呑地域内
参加：参加者約30名
内容：南大呑地域の東浜集会所と南大呑コミュニティーセンターの2か所で、地域の住民と学生が協力し、大呑地域で採れた竹を活用してオリジナルの竹ランタンを制作した。参加者同士の交流が盛んに行われ、住民と学生だけでなく、住民同士も楽しそうに会話を交わしており、地域の繋がりを深める貴重な場となった。

活動の様子①

活動の様子②

（2）大呑ランタンフェスティバル

日程：2024年8月10日（土）18:30~
場所：南大呑コミュニティーセンター
参加：来場者約60名
内容：昨年、一昨年に引き続き3回目の開催となる本イベントでは、夜空にランタンを浮かべ、大地には竹ランタンの柔らかな灯りを広げることで、大呑の空と大地を幻想的な光で彩った。今年度は、ランタンの数を増やすとともに、カラフルな色合いを取り入れたデザインを採用し、能登の大空にカラフルな光を灯し、規模を拡大したイベントを開催した。

活動の様子①

活動の様子②

成果、結果の考察

能登半島地震の影響を受け、例年とは異なる形での実施を模索しながら、中心メンバーである学生たちは、複数回にわたって現地を訪れ、地域住民と協力してイベントを開催した。イベントに向けては、学生自らが告知用のチラシを制作し、地域内に配布することで住民の参加を促した。

今後の課題、展望

今年で3回目を迎えたランタンイベントは、昨年よりもランタンの数を増やし、規模を拡大して実施した。今後はさらに規模を拡大し、このイベントを南大呑地域の魅力的な恒例行事として定着させることを目指す。加えて、地域外からの参加者を積極的に呼び込み、地域内外の交流を活性化させることで、交流人口の増加にも取り組んでいきたい。このイベントを通じて地域の魅力をより広く発信し、持続可能な地域振興につなげていきたい。